

糸魚川の歴史 略年表

時代	西暦等	主なできごと
縄文	中期	土器や弓矢があらわれる、集落が形成される 長者ヶ原遺跡（一ノ宮）でヒスイの加工や玉作り、石斧作りが行われる 井ノ上遺跡（能生）で人物土器が作られる
	晩期	寺地遺跡（寺地）や細池遺跡（滝川原）でヒスイの加工や玉作りが行われる
弥生	後期	大陸から稲作や金属器が伝わる 後生山遺跡（一ノ宮）などで玉作りが行われる
古墳	538	田伏遺跡（田伏） 大角地遺跡（今村新田）などで玉作りが行われる 仏教が伝来する
奈良	710	平城京に遷都 『古事記』に奴奈川姫と大国主命の歌謡がうたわれる
平安	794	平安京に遷都
	927	『延喜式』に奴奈川神社や青海神社が掲載 日光寺の十一面観音立像（県指定） 天津神社の木造奴奈川姫神像（県指定） 水保の十一面観音立像（国指定） 能生白山神社の聖観音立像（国指定）などが作られる
鎌倉	1192	源頼朝が幕府を開く
	1221	承久の乱、浄土崩れ（親不知）で朝廷軍を幕府軍が破る
室町	1338	足利尊氏が幕府を開く 世阿弥元清が謡曲「山姥」を創作（上路）
	1499	能生白山神社の「汐路の鐘」鑄造 勝山城（青海） 根知城（根小屋） 不動山城（越） 徳合城（徳合）など築城が
	1515	能生白山神社本殿（国指定）建立
	1553	村上義清が根知城主となる
江戸	1603	徳川家康が幕府を開く
	1613	荻田主馬が清崎城主（一の宮）となる
	1681	越後騒動（高田藩のお家騒動）により清崎城が廃城、のち陣屋が築造
	1689	松尾芭蕉が桔梗屋（市振）に泊まる
	1779	山口家住宅（下出）の上棟
	1819	黒川騒動（悪政に対する農民一揆）が起こり、郡代の黒川氏は罷免
明治	1824	戸倉山で雪崩、ポッカ宿を襲い死者多数
	1878	明治天皇の北陸巡幸
	1882	親不知道の開通
大正	1883	相馬御風の誕生（～1950 没）
	1913	富山～直江津間の鉄道が開通
	1916	相馬御風が突如として糸魚川に退住、『還元録』を出版
昭和	1923	水保の十一面観音立像が国重要文化財に指定（旧国宝）
	1938	小滝川でヒスイを発見
	1945	第2次世界大戦の終戦
	1950	能生白山神社の聖観音立像が国重要文化財に指定（旧国宝）
	1954	長者ヶ原遺跡の第1次発掘調査が行われる
	1955	小滝川硬玉産地が、翌年、青海川の硬玉産地が国天然記念物に指定
	1958	能生白山神社本殿が国建造物に指定
	1971	長者ヶ原遺跡が国史跡に指定
	1977	山口家住宅が国建造物に指定
	1980	寺地遺跡が国史跡に、糸魚川・能生の舞楽、根知山寺の延年が国重要無形民俗文化財に指定
平成	1987	能生白山神社の船絵馬が国重要有形民俗文化財に、青海の竹のからかいが国重要無形民俗文化財に指定
	2002	松本街道（塩の道）が国史跡に指定
	2004	塩の道ポッカ資料が国重要有形民俗文化財に指定
	2005	糸魚川市、青海町、能生町が市町合併により、新糸魚川市が誕生
	2006	木地屋資料が国重要有形民俗文化財に指定